

# ブッチギリ通信レポート

さて、前回新しくスタートしたコーナー『ブッチギリ通信レポート～第1弾』がとても好評でしたので、今回はその第2弾です。このコーナーは『ブッチギリ通信』をご利用いただいている皆様を取材させていただき、その方の成功事例や奮闘ぶりをご紹介する通信です。今回も素敵なガンバルマンをご紹介いたします。

## ブッチギリ通信レポート

### ～今、輝いているクリーニング店探訪



今回ご紹介させて頂くのは、徹夜踊りで有名な岐阜県は郡上市でご活躍中の“洗門館ふるかわ”の2代目、古川雄三さん42歳です。古川さんのお店は創業者であるお父様が昭和32年に開業。当初は外交だけで営業していたそうです。それもそのはず、この郡上という町は今でこそ交通の便も良くなりましたが当時は山林に囲まれていて、とても店に来てもらうような環境ではなかったらしいです。しかし持ち前の技術とその人柄の良さで、信用もついて来て、店は小さくてもキラリと光る名店になったそうです。

東京の高級クリーニング店で2年半修行をして帰郷。その後何となく手伝う日々が流れ、このキラリと光る名店を引継ごうと決心したのは古川雄三さんが25歳の時。バリバリ活躍したと思いきや、本人曰く「郡上一の適当跡取り」で洗いすらできず、外交と仕上げだけをする、ただ何となく店をやっているだけのいわゆる気楽な若旦那的存在だったそうです。そして29歳で結婚。2人の愛娘（下の写真はフォトコンテストで、厚生大臣賞をはじめとして、色々な賞を取りまくるお父様の撮ったものです。）に恵まれて幸せな日々を送っていた雄三さんに32歳の時に適当男の異名を返上する転機が訪れたのです。



10年前に、まだ郡上市には無かったショッピングセンターが初めて出来ることになって、そのテナントに出店する話が飛び込んできたのです。しかも運の良い事に、最初はライバル店にほぼ決まりかけていたのが、最終的にその店が出店を断念したのです。そこで古川さんは何が何でも入り込もうと、コネを探していたらナント、奥さんの親戚がそのショッピングセンターのディベロッパーだった事が判って、そのコネを使って出店に成功。

そして順風満帆に売上が伸びると思いきや、そこで大きな壁にブチ当たったそうです。もともと郡上市は7つの町が集まった人口5万人の町。決して大きな町とはいえません。なのにライバルのクリーニング店が、いたる所に乱立していてパイの奪い合い。立地条件の良いショッピングセンターに出店したからといっても、売上がそんなに簡単にあがるわけではありませんでした。



地代家賃と従業員さん達の給与だけで精一杯で、苦しい日々が続いたそうです。そこでディベロッパーやコンサルタント達に助言をもらって店名やシステム、戦略などを今までとは全く変える決意をしました。そして店名を“古川クリーニング”から“洗門館ふるかわ”に変更。看板も地味なものから、目立つピンクに変更してとにかく人目につくようにしました。すると次第に“洗門館ふるかわ”が認知されるようになり、少しずつ売上も増え始めたそうです。



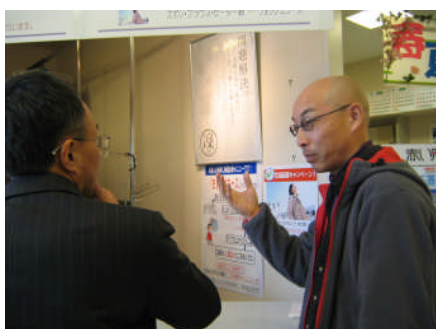
しかしまだまだ食欲に売上を上げようと、古川さんは色々と考えているうちに、まだ地元のライバル店が洋服のリフォームに力を入れていないのに気がついて、リフォームに力を入れるようになったら、売上が急増。

PRのコツはメジャーを肩からぶら下げて店頭立つだけで反応が良くなるそうです。そしてそれだけでは満足できず、更にメニューを増やそうと、衣服のクリーニングだけでなく、高級ブランドのハンドバックや靴の修理や丸洗いなども始めて、更に売上もアップ。

特にリフォーム部門の売上は倍々で増え続けているそうです。

その秘訣はリーズナブルな価格帯と、高品質の高料金の価格帯とを提示して、お客様にどちらのコースかを選択してもらうシステムが受けているようです。そして私の目で店頭を見ていると、店内ポップが非常に判りやすく書いてあり、内容が一目瞭然理解できることに感心しました。

そして更に昨年の夏から始めた『クリーニング店のブッチギリ通信』のニュースレターを活用するようになってからは、一度他店に離れて行ったお客様が帰ってきたり、それによって洋服のリフォームが認知されるようになり、一客単価が上がるようになったそうです。特に奥さんの作ったDMを添えて送ると非常にお客様のウケがいいらしいです。



そして古川さんは「割引だけがサービスではない！色々なニーズに応えることだ！」と言い切り、現にクレジットサービスも行っています。そして「他にもまだまだ秘策はイッパイある」と熱っぽく語ってくれました。まさに適当男の大逆襲です。そして最後に「早くオヤジに楽をさせてやりたいです」とポツリといった言葉が非常に印象的で、ジーンとききました。今回の取材にご協力していただき、ありがとうございました。

失ってからでは遅過ぎる！  
この1枚で常連客を逃がさない！

大切なお客様を他店へ流出させない

ためのニュースレターです

クリーニング店のブッチギリ通信

<http://hosono-atsuro.com/>

クリーニング島円

〒503-0877 岐阜県大垣市御殿町 1-43

電話・FAX：0584-78-4449

サイト：<http://hosono-atsuro.com>

メール：[info@hosono-atsuro.com](mailto:info@hosono-atsuro.com)

発行者：マイスター 細野敦郎